

令和7年度香取市まち・ひと・しごと創生推進会議 議事概要

開催日時： 令和7年10月27日（月） 午後1時00分から午後3時20分まで

開催場所： 香取市役所 7階全員協議会室

出席委員：20人 **代理出席：**3人

＜委員＞五十音順

石川浩幸委員、伊藤博和委員、伊藤寛委員、加藤健之委員、金親孝夫委員（代理：佐藤一徳氏）
川村崇委員、三枝伸太郎委員（代理：藤井俊行氏）、實川美香委員、嶋貫伸二委員
関謙次郎委員、高木真江委員、高梨弘子委員（代理：築比地淳子氏）、高橋弘道委員
高橋裕委員、竹蓋伸六委員、堂下浩委員、橋本欣也委員、平塚新兵衛委員、藤森天雄委員
古屋秀委員、宮國健委員、山之内俊雄委員、山本一郎委員

＜香取市＞

総合政策部 松田部長

企画政策課 坂本課長、高岡班長、金田主査、田口主任主事

総務部総務課 安原班長

議 事：（1）第3期香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び香取市過疎地域持続的発展計画の効果検証について【資料1、資料2】

その他：（1）物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業について【資料3、資料4】

（2）デジタル田園都市国家構想交付金事業について【資料5】

（3）新しい地方経済・生活環境創生交付金の活用事業について【資料6、資料7】

（4）次期総合計画及び総合戦略の策定について【資料8】

配付資料：資料1 第3期香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び香取市過疎地域持続的発展計画の効果検証結果

資料2 第3期香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び香取市過疎地域持続的発展計画の成果指標の達成状況

資料3 令和6年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の効果検証結果

資料4 令和7年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業

資料5 デジタル田園都市国家構想交付金効果検証結果及び活用事業（デジタル実装タイプ）

資料6 新しい地方経済・生活環境創生交付金の活用事業について（第2世代交付金）

資料7 新しい地方経済・生活環境創生交付金の活用事業について（地域防災緊急整備型）

資料8 次期総合計画及び総合戦略の策定について

議事内容：

1 開会 企画政策課政策班長 高岡

2 委嘱状交付

本推進会議の委員の任期については、香取市まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱第3条第3項に3年と定めている。この規定に従い、今年度改めて委嘱をさせていただいた。

3 市長挨拶 香取市長 伊藤友則

4 委員紹介

5 会長・副会長選出

互選により、

会長…東京情報大学 総合情報学部 教授 堂下 浩 委員

副会長…香取市自治会連合会 会長 関 謙次郎 委員

6 議事

(1) 第3期香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び香取市過疎地域持続的発展計画の効果検証について【資料1、資料2】

資料1、資料2に基づき、事務局から説明。

内容について質疑応答

【竹蓋委員】

・2040年問題について

介護福祉計画等において、香取市は2040年に高齢者人口と生産年齢人口が拮抗し、2050年に高齢者人口がそれ以下の全ての人口を超え、一人暮らしの高齢者が多くなると予想される。社会福祉協議会では日常生活自立支援事業で身寄りのない方、頼れる人がいない方等のサポートを行っているが、そういった方々をサポートする専門員や支援員をどのように確保していくのか、これは市の高齢者計画、介護の将来を見据えたサポート体制の1つとして考えていただきたい。

・資料1 3-4(1)①包括的な相談・支援体制の構築について

問題の解決方法の中に、家庭に問題があったり虐待を受けている子供の支援について、関係機関との連携や児童相談所との支援方針の共有など、児童虐待に対する包括的・継続的な支援が行われるよう取り組むとあるが、子供に関する多重困難事例について子育て支援課が司令塔となり関係会議を開く等、できる限り関係各所と連携を取って対応していただきたい。

・資料1 3-6(1)⑥妊婦及び乳幼児の健康増進について

現行の取組で、相談を受けた後、紹介する療育機関が不足しているとあるが、療育機関とは具体的に何を指すのか。療育機関で検索すると児童発達支援センター及び放課後等

デイサービスと出てくるが、児童発達支援センターは法律に基づき各自治体1つ程度しかない。また放課後等デイサービスは、障害のある子供の学童保育的なところから出発したものであり、療育機関とは言えない。前後の記載から小児医療の話であり、療育機関が不足しているのではなく、医療機関が不足しているという理解で良いか。

【事務局】

・2040年問題についてはこれから高齢化が極端に進むことから、マンパワー、組織の体制、システムの構築等が喫緊の課題である。香取市においては高齢化率だけでなく生産年齢人口の減少も課題と捉えており、多様な働き方の実施やDXの推進等を総合戦略の中で揉んでいながら介護に対応していくことが必要と考える。細かい制度設計等が必要になるため、介護担当課と協議しながら、できるだけ意識して次期計画に盛り込んでいきたい。

・子供の多重困難等の対応については、常にケースが同じということがないため対応が困難であるが、子供の安全・権利を確保するために、サービスの谷間がないよう行うことは非常に重要である。多重困難事例があった場合には事例等についてフィードバックし、次に活かせるような対応を取るよう担当課と協議していきたい。また、司令塔という点についても協議していきたい。

・療育機関の不足という点については、健康づくり課に確認のうえ、回答させていただきたい。

【議長】

療育機関の不足については委員から指摘があったが、相談の支援機関が全国的に不足しており、喫緊の課題である。この部分に関しては非常に大切な問題提起であるため、長期的なビジョンで政策作りに反映していただきたい。

【川村委員】

・資料2 成果指標（数値目標）・重要業績評価指標（KPI）の達成状況について

重点プロジェクト（2）が現時点で大幅マイナスとなっており、2027年の目標に達せないのが目に見えている。また、資料1（1）の重点プロジェクトで施策の大半がA評価、その他がB評価であるにも関わらずKPIの数値が低いことに対して、このまま施策を進めても大幅未達で終わってしまうのではないかと懸念しているが、どのように考えているのか。

【事務局】

社会増減数、若年層の転入超過数について目標数値を上回る形で減少が進んでおり、達成が厳しい状況である。KPIの設定の仕方等もあるが、施策でA評価のところがKPIに反映されていない点については次期計画で改善したい。

【議長】

若い人を定着させる、そして呼び込むことは非常に難しい政策で、色々な施策と関連している。次期計画ではその結果を数値で示せるようにすることが重要なので、色々アイデアや意見をいただきたい。

【高橋委員】

住宅に関して、今後香取市でも人口の集約が必要になると思うが、人口集約に向けてどういう風に取り組んでいるか。今後10年、20年の中で香取市のどの地域に人口を集約していくのか。

【事務局】

立地適正化計画を定め住居誘導地域を設定し人口を集約することで、下水や水道、道路等のインフラを集中させ維持費用を下げていくことが可能となるが、現在香取市ではそちらについて検討を研究している段階であるため、現時点でどの地域に住居を誘導するといった計画はございません。

【高橋委員】

いつ頃できる予定か。

【事務局】

いつできるかは伺っていない。

【高橋委員】

人口をどの地域に集約していくかが決まらなないと、かどくる等交通インフラを今後どのように運用していくのか見通しが立たないと思う。また、パーク・アンド・ライドについては、駅又は高速バスの停留所近辺に駐車場がどの程度あるかを把握しないと電車又は高速バスで成田や東京に行く計画が立てにくくなり、人口流出が止まらない。企業誘致に関しては、どの地域にどういう企業を誘致するのか、用地確保も早急に進めないと、成田空港第二の開港が迫る中で労働人口を増やしていく流れに乗れないのではないかと。多古町は住宅地の増設を進めているが、香取市は遅れている気がする。どういう風に考えているか。

【事務局】

人口の集約化については、今回の成田空港第二の開港プロジェクトと直接リンクするものではないと考えている。多古町、芝山町、成田市等は住宅用地を整備しており、香取市は住宅用地の整備の候補地等を検討しているところである。成田空港の従業員及びその家族等を香取市に誘導できるよう、成田空港側で用地の確保をしていきたい。遅いという指摘があったためスピード感を持ってやりたい。

【高橋委員】

パーク・アンド・ライドについてはどうでしょうか。

【事務局】

香取市で一時計画のあった佐原駅北口バスターミナル計画については、土地交渉がうまくいかず凍結となっている。現在パーク・アンド・ライドでは、成田空港を意識して検討している状況である。

【高橋委員】

この件についても早く対応しないと市民が成田や東京まで自家用車で行き、高速バスの利用者が減り、便数が減るといった悪循環になるため、早急に進めていただきたい。

【議長】

人口集約については慎重にならざるを得ないが、避けて通れない部分である。

議事（１）について拍手による承認を求め、拍手多数により承認。

7 その他

（１）物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業について【資料３、資料４】

資料３、資料４に基づき、事務局から説明。

内容についての質疑応答なし

（２）デジタル田園都市国家構想交付金事業について【資料５】

資料５に基づき、事務局から説明。

内容について質疑応答

【竹蓋委員】

- ・住民に寄り添った相談・支援業務を行うためのデジタル技術活用事業についてデジタル化された相談記録はどのような部署・事業所で共有できるのか。

【事務局】

導入にあたり社会福祉課社会福祉班が主体となったため社会福祉班のほか、実際の活用にあたって生活支援班、こども家庭センターも協議に加わっていたと思うが、詳細については追ってご報告させていただきたい。

【竹蓋委員】

本システムで情報共有や記録ができるようになったので、このシステムを子育て支援課の支援会議等でも活用していただきたい。

【事務局】

導入部署にも共有して活用を進めたい。

【議長】

こういった情報は極めてセンシティブだが、個人情報に留意したうえで情報共有していくことは必要である。場合によっては、市役所だけでなく民間も巻き込みながら問題を共有していく体制が必要だと思うので、是非こういったデジタル情報を活用していただければと思う。

【高橋委員】

- ・公立保育所 ICT 化事業について

公立保育所の ICT 化事業について大変すばらしいと思う一方で、目標値が 50%以上だと従前のやり方もあり仕事が二重になる。できれば 80%前後を目指してもらいたい。

【事務局】

二度手間になるという点について、確かにそのとおりである。利用率の向上を目指したい。

【議長】

民間保育所はデジタル技術をどの程度利用しているのか。

【高橋委員】

利用している園では保育の記録も全て ICT 上でやれるようになっているが、利用していない園では出欠管理止まりのところもある。

【議長】

利用者の視点で考えれば、民間も公立も関係ないので、民間とレベル等を合わせながら徐々に進めていっていただきたい。

(3) 新しい地方経済・生活環境創生交付金の活用事業について【資料 6、資料 7】

資料 6、資料 7 に基づき、事務局から説明。

内容について質疑応答

【高橋委員】

- ・資料 6 について

「本市のゲートウェイである」という記載があるが、道の駅への車以外でのアクセス方法はあるのか。

【事務局】

公共交通機関だと香取市が運営している循環バスによる乗り入れが可能となっている。

【高橋委員】

利用は結構あるのか。

【事務局】

土日においては多くの人が利用していると伺っている。

【高橋委員】

ゲートウェイということで市外、特にインバウンドを見込むのであれば、アクセス面も検討していただければと思う。

【議長】

他の道の駅では、高速を降りて道の駅で買い物をして、何時間以内にまた高速に戻れば高速料金が加算されないといったサービスがある。そういった動線を考えていただけると外からお客さんが入ってきやすいと思うので、是非検討いただきたい。

(4) 次期総合計画及び総合戦略の策定について【資料8】

資料8に基づき、事務局から説明。

内容について質疑応答

【高橋委員】

- ・計画を立て市の職員に一生懸命取り組んでいただくので、個別の項目を達成したら全体的にも達成できるような計画にしてほしい。
- ・重点プロジェクトで6項目立てているが、具体性がない。競争力のある産業では、香取市で競争力のある産業とはどういうものか、安定した雇用では、人材不足の中でどうやったら十分に労働力を確保できるのか等、具体性がなければそれに向けた数値が出せないなので、具体的にどういう姿なのかから計画ができると良いと思う。

【事務局】

現行計画は連動性に欠けているため、最終目標に到達できるよう、適切なKPIを設定するためにロジックモデル等を活用しながら計画策定していきたい。

【川村委員】

実効性のある計画を立てるのが大事。また、5カ年計画ではあるが時代の流れが早いので、柔軟性を持たせ施策の一部を変えていく、追加するといったことがあってもいいのではないかな。

【事務局】

実効性や柔軟性といった視点を常に忘れないようにしていきたい。

【議長】

個々の問題を香取市単体で解決するのは難しくなっているため、隣市町や茨城県との連携も含めた計画を立てると効果が早いと思うので是非お願いしたい。

今回から成田国際空港(株)も推進会議委員に参画され、香取市において人口増加や経済的な波及効果を期待する部分が大いだが、香取市側がどういうことをすべきかアイデア等があれば伺いたい。

【築比地氏】

今後成田空港の機能強化で雇用が約1.5倍以上必要になってくる。また、新しい成田空港構想という点で、空港だけでなく空港周辺の市町については千葉県全体に空港の経済効果を拡大させていくために、千葉県と空港が主体となりエアポートシティ構想を進めている。成田空港を核としてどう広域的に経済圏を作っていくか、引き続き香取市を始め市町の皆様の意見をいただいて大きな空港圏構想を実現していきたい。

【議長】

成田国際空港(株)におかれましては、香取市にとっては非常に重要な繁栄・発展の起爆剤になると思うので、香取市にできることがあれば是非色々と担わせていただきたい。

資料8に記載される多様な主体として「企業市民の参画」、そして「広域連携の推進」に関連して具体的な参考情報を共有したい。来月茨城県水戸市にテツ・アートプラザがオープンする。これは美術館やカフェがある文化施設で、造ったのは自治体ではなくアダストリアという民間企業である。この施設は旧川崎銀行水戸支店を活用し、周辺の土地も購入して造ったが、文化施設を一企業が造った意義は非常に大きいと考える。本件については、いわゆる「企業市民」を巻き込むという点で、これから総合計画を策定する上で大きな鍵になる。また、広域連携という点で、佐原三菱館は旧川崎銀行佐原支店を、佐倉の市立美術館は旧川崎銀行佐倉支店を、千葉市の美術館は旧川崎銀行千葉支店を活用しており、旧川崎銀行の支店をツアーで周りながら、地域・文化の交流を広げ、広域的な関わりを持たせながら観光を呼び込むといった「広域連携の推進」が次のステップでは必要になってくると思う。

8 閉会

事務局の司会進行により、閉会。

以上